

ときめきの富士

雲の浮島

3月 夜明 静岡市清水区吉原より



夜明け前に雨が上がった。

そこから山上のドラマが始まった。

隠れていた富士が姿を現すには風のパワーが必要だ。

太陽が顔を出す時、気流が湧き始める。

夜明けの到来と共に、大気は風を呼び

峰を覆っていた雲を数秒だけ払ってくれた。

雲海は荒波の姿になった。

山々は波に洗われる島々の姿になった。

この姿を浮島と言う。

山々はお茶畑である。

この雲海の下を今、第2東名高速道路が走る。

紫の至高の光の中で荘厳な霊峰が見守っている。

感謝無限大

ロッキー田中

富士山が教えてくれた幸運の法則 その5

意識と言葉のチカラ

〈独自の視点〉

いつの間にか16年が過ぎました。お世話になった会社からお礼を言ってサラリーマン生活に別れを告げ、世界でただ一人のときめきの富士の写真家になってから、いつも新しい景色を新鮮な感動で受けとめてきました。

独立した時に私のバックボーンは何もありませんでした。雑誌社に繋がりが有る訳ではなく、勿論スポンサーも無く、周りには富士山を撮っている人も沢山存在しました。唯一確信があったのは、誰もやらない世界にこそ真理があるという気持ちと、人々に共鳴する作品を世に出す為の、自分独自の視点でした。

山麓で待つのではなく、山が呼んでくれたら逢いに行くというスタイルをずっと続けています。勿論その為には数知れない探索によって、季節や気象の変化を細胞に覚えさせて来たこと、山だけを撮るのではなく、景色と共に在る富士山を浮世絵のイメージで受けとめる絵づくりがあります。

〈シーンを呼び寄せる〉

面白いのは、心に描いた逢いたい景色は思いのままに呼び寄せる事が出来るという真理をつかんだ事です。それは決して魔法やスピリチュアルな事ではなく、培って来た情報と想像力でかなりのところまで追い込めるのです。伝統工芸やモノ造りに携わる人、町工場でミクログの領域まで目と手加減でコントロールする達人は私の尊敬する人達であり、魂の友人です。

富士山のある景色でもそれが出来るのではないかと、そう気付いてからやみくもに動く事は無くなりました。360度の周囲の中で、どの地点はこの気象状況ならどんな表情を見せるか、雲の形は、空の色はどうかを100km離れた東京でイメージするのです。

〈意識が創る〉

次の朝は西から東の太陽を観るべきか、

それとも高い山から雲上の富士を観るべきかをイメージし、天気の変化を知るのです。勿論私の視点は広角です。富士山だけをズームアップした望遠の構図ではありません。左の目の端から右の目の端までの視界の全てが、里景色と共に美しい色に際立つ瞬間を探ります。

〈天を味方に〉

写真家としてバックボーンのない新参者の私は、目に見えない無限のチカラを味方につける事で、オンラインワンの世界を創るしかないと思い至りました。それは絆づくりを通じて天を味方に付けた事です。作品はポストカード、本、DVD、カレンダー、キャビネの小型額入り、中大型の額装のカタチで制作します。その1作1作の背中に富士山が伝えてくれたメッセージを書き始めました。

実はこの一つ一つのメッセージに、作品を受け取って共感して下さった方々の沢山のドラマがあります。いずれ順次この言葉ごとにコラムを書けるかも知れません。でも、お客様からこの言葉を書いて下さいというリクエストされるのは少々苦手です。それはリクエストする方の念の強さを感じてしまうからです。

〈言葉が輪を広げる〉

不思議な事にサインをしようとする「顔」が浮かびます。それはこの作品を受け取って喜ぶ人のいい顔です。男性であったり女性であったり、若かったり年配だったり様々ですが、ときめきの富士が届いてわくわくして何処に飾ろうかと壁を探している人の姿であつたりもします。それが誰かは分かりませんが、そしてサインを終えると完了のサインで顔は消えます。

浮かんだコトバは必ず心に響くと信じています。

その一部を紹介致します。

「感謝無限大」きつと花ひらく「花咲き美る志」「その先の世界へ」「心が世界を創る」「夢のチカラ」「コトバは神の宿」「未来は今を待っている」「さあ今から」「ここに」「結実の時」「大丈夫、そう成る！」「志高く心柔かく」

まだまだ出てきます。書いたコトバはその方に必要なメッセージだったと、よくお便りを頂きました。それが嬉しくて、今でもサロンに直接ご注文下さった方には、肉筆のメッセージを書き続けています。今のときめきの富士のお客様は、私がデビューした時に握手をし、言葉を交わし、メッセージを伝えたご縁から輪が幾重にも広がって出来た方達の輪です。その輪は伝えて来たメッセージで広がって来たという基盤が出来たから私は今日も元気に生かされています。

〈新しい文化〉

いよいよ一年で一番忙しい時節が到来しました。2013年カレンダーが出来ました。テーマは「麗しのやまとの国よ、甦れ！」です。様々な事が起き続け、それでも志高く善い社会を創ろうとする日本への、日本からのメッセージを込めて作品を選定しました。

世の中にはモノが溢れています。いいモノを見つめるのは逆に難しい時代に成りました。折角選んでもMade in Chinaなんて文字があつたら興ざめになります。お世話になったあの方に、新年の挨拶に、元氣になつて欲しいあの方に本物を贈りたいですね。

私はずっと、ときめきの富士を贈る文化が来ると言いつけています。それは喜びと感謝の伝達だから。日本にしかないから。贈る人の気持と受け取る人の喜びが分かるから。今日も時間を見つけてはカレンダーの背表紙にメッセージとサインを書いています。一番びつたりのコトバがあな

感謝無限大 ロッキー田中



2013年 ときめきの富士 カレンダーが 発売されました。

日本よ再び光の国へ、麗しのやまとの国よ甦れ!の思いを込めて制作しました。

左上より
・春來たりて・燦々紅葉・飛翔壯大
・夜明到来・虹の翼・表紙・火の鳥

1部1,680円 送料:2冊まで390円/5冊まで580円

※お問い合わせの際は「ぶぶん通信を見た」とお申し添えください。

お申し込み・お問い合わせは
ときめきの富士
アートサロン

- 東京都品川区西五反田3-7-9(11時~18時 水休 除祝日)
- TEL/03-5740-6921 ●FAX/03-5740-6922
- ホームページアドレス
- メールアドレス takimeki@rocky-fuji.com



ときめきの富士
写真家
ロッキー田中

誰も見た事のない「ときめきの富士」を生涯に99作世に出すオンラインワンの写真家。100km離れた東京で富士山・空・雲・光の表情を読み、山が呼んでくれたら逢いに行く。

作品は浮世絵の様な構図、色、究極の美に満ちた富士山のメッセージが写っているとされる。

「現代の北斎」とも称され、平成15年に文部科学大臣賞受賞。富士写真家連盟特別顧問 講師。NPO 富士山を世界遺産にする国民会議223フェロー。人々との喜びの共感を生き甲斐とし、サロンには

全国から訪れる人が絶えない。